

## 第1期会計人材開発支援プログラムの開催状況 (2013年8月～2013年12月)

プログラム名	概要	開催日 <sup>※2</sup>
ASBJ 基調プログラム	<プロジェクト A、B> <sup>※1</sup> [講師：西川郁生 ASBJ 委員長] ASAF における ASBJ の取組みについての講話があり、その後、意見交換が行われた。	12/18
Accounting プログラム	<プロジェクト A> [講師：秋葉賢一早稲田大学大学院会計研究科教授] IASB 概念フレームワーク「財務諸表の構成要素」、「資本維持」、「認識」、「測定」等についてのプレゼンテーション、ディスカッションが行われた。 <プロジェクト B> [講師：秋葉賢一早稲田大学大学院会計研究科教授] IASB 概念フレームワークを踏まえ、IFRS 及び IFRS 概念フレームワークを改善・開発する観点から、資産・負債の測定、認識、認識の中止等についてのプレゼンテーション、ディスカッションが行われた。	8/21 (A) 9/25 (A) 11/14 (A) 12/17 (A) 8/23 (B) 9/19 (B) 11/20 (B) 12/20 (B)
writing トレーニング	<プロジェクト A> IASB から公表されている討議資料、キャッシュフロー計算書、純利益と営業利益等についてのレポート提出が行われた。	8/29 9/27 11/28 12/17
Discussion トレーニング	<プロジェクト A、B> [講師：Markus Fucks 氏 (有限責任あずさ監査法人)、Trevor Tisseverasinghe 氏 (あらた監査法人)] IFRS 第9号の強制適用日の延期、日本における IFRS のエンドースメント手続等について、英語でのディスカッションが行われた。	8/2 9/5 11/15 12/2
IASB update プログラム	<プロジェクト A、B> 篤地隆継 IASB 理事、湯浅一生 IFRS 解釈指針委員会委員 (富士通株式会社) が講師となり、最近の IASB の基準開発の状況等について説明及び質疑応答が行われた。	8/23 9/20 11/11 12/24
交流プログラム	<プロジェクト A、B> [講師：氷見野良三 金融庁総務企画局審議官] 「国際基準設定における発言力の確保について」と題しての講話があり、その後、意見交換が行われた。	9/6

※1 プロジェクト A は IASB プロジェクト・マネージャーレベルの人材育成を目標とし、プロジェクト B は IASB 理事候補や IFRS 解釈指針委員会委員候補、IFRS 諮問会議委員候補、ASBJ 常勤委員 (国際担当) 候補等の輩出を目標としている。

※2 (A) はプロジェクト A、(B) はプロジェクト B での実施を指す。